

| | | | | |
|---|-------------|----------------|----|-----|
| 科目名 | 医療看護実習Ⅱ(精神) | 後期 | 実習 | 2単位 |
| サブタイトル | | | | |
| 担当者 | 玉木 敦子、高橋 秋絵 | | | |
| [アクティブラーニング授業] | | | | |
| PBL(課題解決型) | | 反転授業 | | |
| ディスカッション・ディベート | ○ | グループワーク | | ○ |
| プレゼンテーション | | 実習、フィールドワーク | | ○ |
| その他 | | 実務経験のある教員による授業 | | ○ |
| <p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 精神障がいをもつ人の価値観や人権を尊重しながら関わり、人間関係構築のプロセスを体験しながら、自己洞察、他者理解を深めることができる。 2. 精神障がいをもつ人の体験に寄り添い、生活援助やプログラムへの参加を通して、心身の健康状態や心理・社会的要因が生活や対人関係に及ぼす影響を理解することができる。 3. 精神障がいをもつ人のセルフケアの維持・向上、自立や自己実現に向けた看護援助について考察することができる。 4. 精神科病院や地域で行われているさまざまな治療的アプローチや支援、チーム医療における看護職の役割や他職種との連携、精神障がいをもつ人が利用できる社会資源について知ることができる。 <p>[授業概要]</p> <p>精神障がいをもつ人と人間関係を構築するプロセスの中で、自己洞察、他者理解を深める。また対象者の体験に寄り添い、生活援助を実践しながら、心身の健康状態や心理・社会的要因が生活や対人関係に及ぼす影響を理解し、セルフケアの維持・向上、自立や自己実現に向けた看護援助について考察する。さらに、精神科病院や地域で行われているさまざまな治療的アプローチや支援、チーム医療における看護職の役割や他職種との連携、精神障がいをもつ人が利用できる社会資源について学ぶ。</p> <p>[準備学修(授業前後の主体的な学修)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習に臨む前に、各自で「実習ガイダンス資料」、「医療看護実習Ⅱ(精神)実習要項」、配布された実習施設関連資料を熟読する。 ・オリエンテーションに必ず参加する。 ・「精神看護論」、「疾病と治療Ⅳ」、「精神看護支援技術演習」で学習した内容を復習して実習に臨む。 <p>[授業計画]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学内オリエンテーション・学外オリエンテーション・直前オリエンテーションに必ず参加する。 <p>[病棟実習]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習期間のうち4日間は病棟実習を行う。患者1名を受け持ち、原則として看護師とともに生活援助を行う。 ・実習中は受け持ち患者と活動とともにし、作業療法や心理教育などの治療的アプローチに積極的に参加する。 ・実習指導者や教員の指導を受けながら、受け持ち患者と積極的にコミュニケーションをとる。 ・実習指導者や教員の指導を受けながら、受け持ち患者のセルフケアに関する情報収集、アセスメントを行う。 ・実習中は毎日カンファレンスを行う。それぞれの学生の体験や実習上の課題を共有し、学びを深めるためにディスカッションする。 ・病棟実習最終日のカンファレンスは、4日間の病棟実習を通して学んだことを発表し、共有する。 <p>[デイケア実習]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習期間のうち1日は、精神科デイケアにて実習を行う。実習担当者に指示や指導を受けながら、利用者とともにプログラムに参加する。 <p>[地域の精神保健福祉施設実習]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習期間のうち3日間は、地域の精神保健福祉施設にて実習を行う。実習担当者や事業所職員に指示や指導を受けながら、利用者とともにプログラムや活動等に参加する。 ・実習担当者や事業所職員の指示や指導を受けながら、積極的に利用者とのコミュニケーションをとる。 <p>[学内実習]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1週目の学内実習日は、実習中に記載したプロセスレコードを用いたグループワークと、1週目に行った実習のまとめを行う。 ・2週目の学内実習日は、2週目に行った実習のまとめと、全員で振り返りを行う全体カンファレンスを行う。 ・全体カンファレンスでは、実習を通して学んだことを学生同士で共有し、自らの成長や学習課題について考えを深める。 | | | | |

| 科目名 | 医療看護実習Ⅱ(精神) | 後期 | 実習 | 2単位 |
|---|-------------|----|----|-----|
| サブタイトル | | | | |
| 担当者 | 玉木 敦子、高橋 秋絵 | | | |
| <p>[成績評価方法] 目標到達度(70%)、課題レポート(10%)、実習への参加態度(20%) ※実習最終日にカンファレンスや個別面談を通してフィードバックを行う。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] *学内日にはカンファレンスや個人面談を通してフィードバックを行う。 *課題レポートは教員が添削して返却する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:看護1-1/(プロフェッショナリズム)生命、人の尊厳を尊重し、人々の基本的な人権を擁護する看護を実践することで、自立した看護専門職としての使命・役割と責務を果たすことができる。 成績評価方法:目標到達度、課題レポート、実習への参加態度</p> <p>学科DP番号/DP内容:看護1-2/(科学的根拠に基づいた課題対応能力)人々の健康増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和のために科学的根拠に基づいた専門的知識と技能が身についている。 成績評価方法:目標到達度、課題レポート、実習への参加態度</p> <p>学科DP番号/DP内容:看護1-3/(人が病むことへの関心と理解)生活者としての視点から病む人に寄り添い、病むことへの理解を深め、集団・地域・社会といったコミュニティと人を育む力が身についている。 成績評価方法:目標到達度、課題レポート、実習への参加態度</p> <p>学科DP番号/DP内容:看護2-1/(人間性の涵養)多様な社会・文化の中で生活している人々への真摯な向き合いから生涯にわたって自己の人間形成を図るとともに、科学的思考、倫理性、国際性が身についている。 成績評価方法:目標到達度、課題レポート、実習への参加態度</p> <p>学科DP番号/DP内容:看護2-2/(看護の表現力)自分との対話や他者との対話、社会との対話を通して自らを律していく力や他者と関わっていく力や社会に提言していく力が身についている。 成績評価方法:目標到達度、課題レポート、実習への参加態度</p> <p>学科DP番号/DP内容:看護2-3/(倫理の実践と道徳的態度)看護実践における倫理の重要性をふまえ、倫理原則、倫理的判断過程、思考方法を学び、看護実習をとおして道徳的態度が身についている。 成績評価方法:目標到達度、課題レポート、実習への参加態度</p> <p>学科DP番号/DP内容:看護3-1/(社会参加)社会参加を前提として自ら学び、最新の専門的知識・技能を探究していく。 成績評価方法:目標到達度、課題レポート、実習への参加態度</p> <p>学科DP番号/DP内容:看護3-2/(協働・協力)保健医療福祉の連携の中で協働・協力して自ら活動していく。 成績評価方法:目標到達度、課題レポート、実習への参加態度</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:目標到達度、課題レポート、実習への参加態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:目標到達度、課題レポート、実習への参加態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:目標到達度、課題レポート、実習への参加態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:目標到達度、課題レポート、実習への参加態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:目標到達度、課題レポート、実習への参加態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:目標到達度、課題レポート、実習への参加態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:目標到達度、課題レポート、実習への参加態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:目標到達度、課題レポート、実習への参加態度</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画力・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:目標到達度、課題レポート、実習への参加態度</p> <p>[教科書 (ISBN)] 「精神看護学—学生-患者のストーリーで綴る実習展開 第2版」 著者名:田中美恵子 編著 出版社:医歯薬出版株式会社 (978-4-263-23673-4)</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p> | | | | |

P11201480 [NB2-015]